

**無料版**

1月号

**ユーストカー NEWS**

毎月1日発行

第69号 定価 540円 (本体500円・送料別途)  
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階  
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp  
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

**2019年**



**AA相場を読み切る!**

**大胆予測**

**停滞相場+年末上昇?**

1月

12月

新しい一年が始まった。昨年の1月号と同様に、過去のデータを分析し、今号でも2019年のAA相場の予測をお届けする。12月号に掲載した「年初から準備せよ! 消費税10%の時どうなる?」と併せて参考にして頂き、今年の戦略作りに役立てて欲しい。その予測に行く前に、去年の本紙予測がどうだったのかを検証していかねば、今号の内容の信憑性に疑問を感じる読者も多いはずだ。まずは去年の予測が「当たった」のか「外れた」のかを、しっかり謙虚な姿勢で検証したい。そのうえで、今年一年の予測をお届けしたいと思う。

去年の予測は中盤まで「当たり」、年後半は「ハズレ」か

2018年の1月号では、8月頃までは「新車不調/A A相場好調」という傾向になり、お盆明けから年末にかけて形成が変わり、年末には「新車好調/A A相場不調」になるという予測をした。結果からお伝えすると、

《2面へつづく》

ワンプラ成功店に聞く

年販246台! 台当り利益は?

《23面》

営業マンがA-に負けないためには?

《コンサルタンスアイ》

《9面》

最強店舗の中古車買取術

急成長新人の成約率が急落!?

カーヘル伊藤社長インタビュー

『23年に自動車メーカーになる』



**安心と実績の AIS車両検査研修プログラム**

- 1Day基礎研修
- 検定3級~1級
- 店舗出張型有り
- 料金15,800円~



検定資格の更新も  
スマホや  
パソコンで  
簡単に!



お問い合わせ AIS 本社 TEL.03-3512-6118 AIS 検定センター TEL.047-481-5541

詳しくは

AIS 研修

検索

「一面からいっき」

新車販売とAA出品台数の予測は大当たり、9月までのAA相場も高止まりして、予測通りの動きであった。

本紙では、新車登録後3、5、7年の車検周期がAA出品台数に強い影響を持ち、その結果、AA相場の騰落が決まると何度もお伝えしてきた。

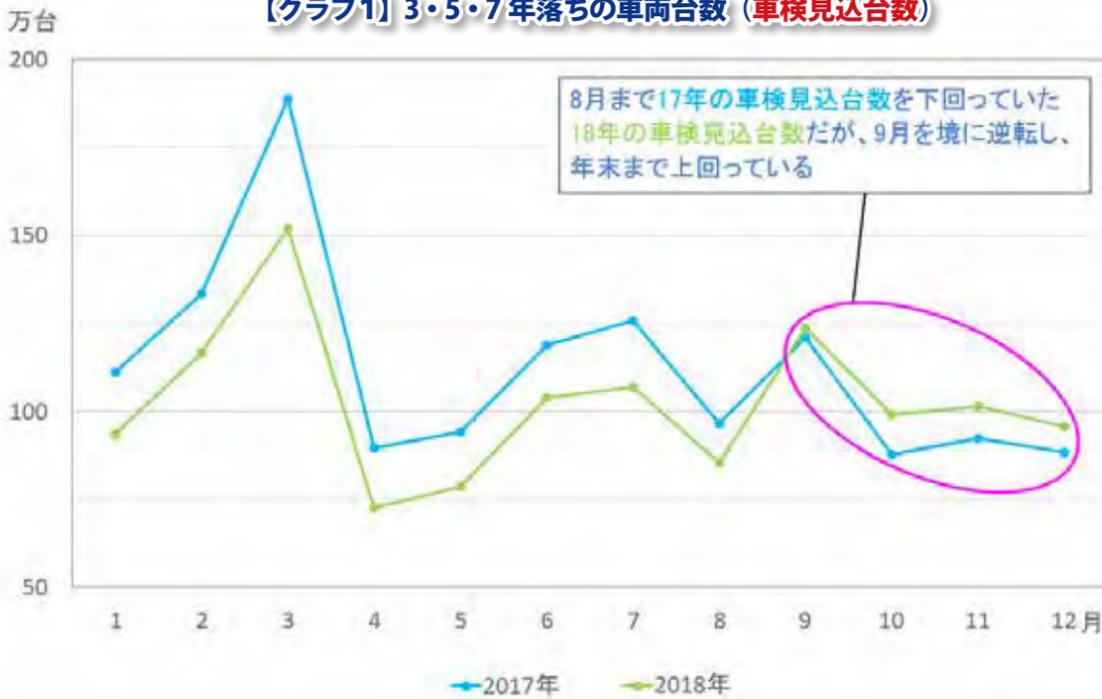
18年の予測もこれに基づき判断し、新車販売台数は苦戦をし、その結果、下取り台数が減少↓AAへの出品が減少↓AA相場が高騰、というシナリオの通りに前半は経過したのだ。

だが、グラフ1を見て頂くとわかるように、18年1~8月までは、車検見込台数は前年のそれを下回っていたが、9月を境に逆転し、その後、年末まで上回っていた。このため、本紙では、10月くらいからAA相場は緩み、年末にかけて急落するという予測を立てた。

しかし、結果は11月までしっかりしたAA相場になり、年末ぎりぎりになつて相場下落がようやく表れた形になった。

今度はグラフ2を見て欲しい。1~9月までのAA出品台数は、5月を除いて前年を下回っており、その間、AA相場は前年のものを上回っていた。AA出品台数が多くなるとAA相場は下落する、という典型に沿った動きになつていたと言え

【グラフ1】3・5・7年落ちの車両台数(車検見込台数)



【グラフ2】2017~18年のAA出品台数と落札平均価格推移



しかし、10~11月に注目して欲しい。ここではAA出品台数が前年を上回っているにも関わらず、AA相場においては、17年のものを上回つたままになつていったのだ。

去年末予測が外れた理由悪さ?をしたのは...

18年の10~11月に起きた「AA出品台数が多くなつたにも関わらず、AA相場が下がる」という現象は、中古車市場におけるセオリーに反しているとも言える。この不可解な現象について原因を究明すべく、さらなる調査を進めたところ、2つの原因が浮かび上がつてきた。

ひとつ目の原因は、まだ我々の記憶にも新しい、9月4日の台風21号などの、自然災害による被害だ。日本損害保険協会の資料によると、この台風をはじめ、18年の7月豪雨、10月の台風24号が、いずれも「過去の保険金支払額ワースト10」

に入っており、その1位にあたる台風21号の車両保険の該当件数は、約11万件(うち大阪府約6万件)にも上つたのだ。全ての車両が全損ではないにしても、この11万件は、あくまでも実際に車両保険が支払われた被害の一部を表す件数であることを考えると、その凄まじさが伝わってくる。

他にも、相場に強い影響を持つ要因がなかったか、さらに考察を進めた。そして、我々の良く知るものの中に、AA出品台数とAA相場が関係しない事例があったことを思い出したのだ。やはり、ここでも登場してきかたキーワードは「輸出」だった。

3面のグラフ3を見て欲しい。18年10月の輸出台数が、前年同月のものより1万台ほど多い、約12万台だったことがわかる。輸出に行く車には、国内では考えられないほどの高値が付く場合があることを考えると、この12万台も、10月の相場を底上げするのには、ひと役を買っていた可能性は、決して低くはないだろう。ニュージランドのカムシ問題などで、9月まで停滞気味だった輸出の反動が10月に表れたことに加え、先述の台風被害の余波と合わせて、AA相場に影響を与えるほどの大きな動きになったと考えるのが、自然ではないだろうか。

本紙では、18年の我々の予想を外した「犯人」を、「災害」と「輸出」と結論付けたい。「輸出」の詳細については、「ユーザー総合版+輸出相場版」に詳しく掲載している。「輸出」によるAA相場への影響に興味がある読者の皆様には、是非、購読をして頂きたいと思う。話を18年の予測に戻すと、本来は10月、11月とAA相場が下がり始める、と考えていたものに対し、「災害」と「輸出」が底上げをしてしまった。この記事を作成している時点では、まだ11月

UcarPAC ユーザーパック 中古車の流通革新を図るユーザーパックが 事業拡大に伴い 検査員・営業スタッフを 大募集!

求人要項① 仕事内容 車両検査員 給与 経験者高給にて応相談 勤務体系 シフト制 パートタイム(週1日~OK)またはフルタイム 就業期間 2018年11月下旬~長期 勤務地 東京・名古屋・大阪・北陸いずれか 中古車両検査員 経験者優遇

求人要項② 仕事内容 車両検査データをチェック・弊社オークションに出品できる状態にします 給与 年収300万~600万円 勤務体系 シフト制(原則、公休月9日) 就業期間 2018年11月下旬~長期 勤務地 東京 中古車両検査員 経験者優遇

求人要項③ 仕事内容 営業スタッフ 給与 年収300万~600万円 勤務体系 シフト制(原則、公休月9日) 就業期間 2018年11月下旬~長期 勤務地 東京・名古屋・大阪・福岡・宮城いずれか UcarPAC

ユーザーパックで中古車市場の流通改革の一翼を担ってみませんか? お問い合わせ・応募先 03-5457-1685 採用担当:森・保科・清家 応募方法 ●電話にて応募 ●面接(1~2回) ※面接・入社日はご相談に応じます。 ※遠方にお住まいの方はテレビ会議を使ったオンライン面接も可能。 UcarPAC株式会社 〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-33-11 マルカビル6F



# 2019年 大胆予測 停滞相場 年末上昇?

《3面からのしき》

3月の

有料版では、モザイクの部分全てをお読み頂く事ができます。電話03(3371)9340まで!

A A相場は上がっていきと考えられる。消費増税後の需要喚起対策として、去年12月には、自動車税の減税や自動車取得税の軽減が自民党の税制改正大綱で決まった。しかし、この政策によるA A相場への影響はほとんどないだろう。政策によって、新車販売がわずかに促進される程度の影響はあるだろうが、その程度のものでと推測される。今年10月以降、輸出の異常値によって、10月のA A相場予測を外してしまったので、今年の予測について、輸出動向を考慮せず断言することは避けたい。

**18年予測の「ハズレ」 反省点を踏まえて**

今年のA A相場の予測はこうだ。1~3月までは例年通り、または、それ以上に出品台数が多くなることで相場が下落し、

しかし、ここで自信を持って結論付けてしまうと、我々は18年の予測の「ハズレ」について、全く反省していないということになってしまおう。あえてここで皆様にも追加して、お知らせしたい。

これはあくまで輸出の動向というものを全く考えていない、国内の需給だけで語った予測である。輸出動向が通常の一年の通り、平穏に流れていけば、予測通りの形になると思うが、我々は去年の輸出の異常値によって、10月のA A相場予測を外してしまったので、今年の予測について、輸出動向を考慮せず断言することは避けたい。

「輸出」は一言では語れない。当然だが、輸出仕向国の規制や情勢は国ごとに違い、例えば税制の変更にしても、日本での年度末など、キリの良いタイミングにわざわざ合わせてくれるということもない。

一例を挙げると、昨年の3~9月にかけて、日本にとって主要仕向国のひとつであるスリランカでは、政府から国家公務員向けの関税免除のパーミットが発行された。紙面の関係で詳細は載

せられないが、このパーミットの影響によって、暴騰していたスリランカ向けプレミオのA A相場が、10月に急落した。この額は日本円にして、台当たり50万円以上。パーミットが突然使用停止になったためだ。

ここまでは過去の話だが、このパーミットの使用停止期間は約半年と言われているため、今春には解禁される可能性がある。しかし、これまでのスリランカ政府の動きを見ていると、必ずしも予定通りに解禁されるわけではないことが「輸出」の面白いところだ。

ここでは、もしもこのパーミットが解禁されれば、一部の車種でA A相場の暴騰も有り得るとだけお伝えしておく。その他の仕向国においても、規制だけでなく、「日本車不足」を内包している国が多いと聞く。詳細に関しては、判明次第、「ユーストカー総合版+輸出相場版」に掲載していくので読んで頂きたい。

「輸出」や「災害」による相場の変動があることを前提に、国内需給による相場の動きの基本はお伝えした。

最後に、繰り返しになるが、

夏以降のA A相場の動きが違って行くことを覚えておいて欲しい。

## 今年の中古車相場はこうなる! 2つのパターン

**※注意**

自動車以外の多くの製品は、消費税増税が行われる直前の7~9月に駆け込み需要が集中するかも知れない。しかし、我々自動車業界においては、自動車税やメーカーの販売戦略などの関係から、年度末にあたる3月が強く意識されていることや、今年特に、5年落ちの車両が3月までに大量出品されるであろうことで、3月までに需要の先喰いが集中することは、本紙でも強く予想している。

ニュースなどを見て、「消費税増税前の7~9月に駆け込み需要が多くなる」といった情報に踊らされず、我々は3月に肝を据えて準備しておくべきだ。本紙を読んだ直後には「そうだ」と思っている、時間が経ち、ニュースの情報に振り回されてしまえば元も子もない。故に、今号のこのページは捨てずに、オフィスに貼り出して置いて欲しい。

有料版では、モザイクの部分全てをお読み頂く事ができます。電話03(3371)9340まで!

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12



大好評!! 過去1年以上オークション出品歴のない車両が多数出品! 2つのEX、魅力の成約率!!

# 売切りEX & トレタマEX